

諏訪の景気動向

平成29年5月

(平成29年4月末 D・I調査)

平成29年5月30日

岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫

諏訪地方の景気動向（平成29年4月末調査）

「平成29年4月末アンケート調査および企業訪問ヒアリング調査からまとめた諏訪地方の景況」

【概況】 諏訪地方184社のご協力を得て行った平成29年4月末の「景気動向調査(DI調査)」は、回答全社の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは19.6となり、前回調査時(平成29年1月末、以下同)の $\Delta 7.3$ から大幅改善した。2桁のプラスは平成27年7月調査の10.4以来。製造業の業況判断DIは19.3で、前回の $\Delta 3.8$ から改善し、非製造業(商業、観光・サービス業、建設業)の同DIも20.0で、前回の $\Delta 14.7$ から改善した。「3ヶ月後」の業況予想DIは、製造業が8.0(前回2.2)、非製造業は23.3(前回14.8)で好転予想が多く、回答全社では13.0(前回6.2)となった。回復基調が続く国内経済の好影響が、諏訪地方にも波及している。

製造業は半導体関連や省力化機械関連をはじめ、幅広い業種で受注量が増加傾向となっている。非製造業は、観光業が諏訪大社御柱祭期間中だった「前年同月比」では悪化したものの、「3ヶ月前比」では例年並みの動きとなっている。商業は店舗間競争や低調な消費マインドなど厳しい情勢が続くが、一部業種では改善の兆しも見られる。建設業は、年度当初は公共工事の発注が少ない例年同様の動き。諏訪地方の景気は総体的に改善傾向だが、有効求人倍率は3ヶ月連続で1.6倍台の高水準となり、人手不足が深刻化している。

製造業の「3ヶ月前」と比べた受注状況DIは前回の $\Delta 5.3$ から20.2へ改善し、売上DIは前回の $\Delta 9.0$ から19.4へ改善した。収益性DIも前回の $\Delta 6.8$ から8.1へ改善した。また、「前年同期」との比較では、業況判断DIは前回の5.2から16.1、受注状況DIは前回の9.0から19.3、収益性DIは前回の4.5から8.8へそれぞれ好転し、プラス水準となっている。「3ヶ月後」の予想DIは、業況判断が前回の2.2から8.0、受注状況は前回の3.7から4.8と好転予想が増加している。ただ、収益性は前回の0.0から $\Delta 2.4$ へ悪化した。地区内製造業は業種にかかわらず、多くの企業で受注が増加している。過去最高の月商を計上した企業や生産が間に合わずに納期遅れが発生した企業も見られる。自動車部品関連も好調に転じ、長く低調だった三菱自動車関連も動き出した。その反面、原材料の値上がりで、材料確保やコスト増を懸念する企業が増えている。

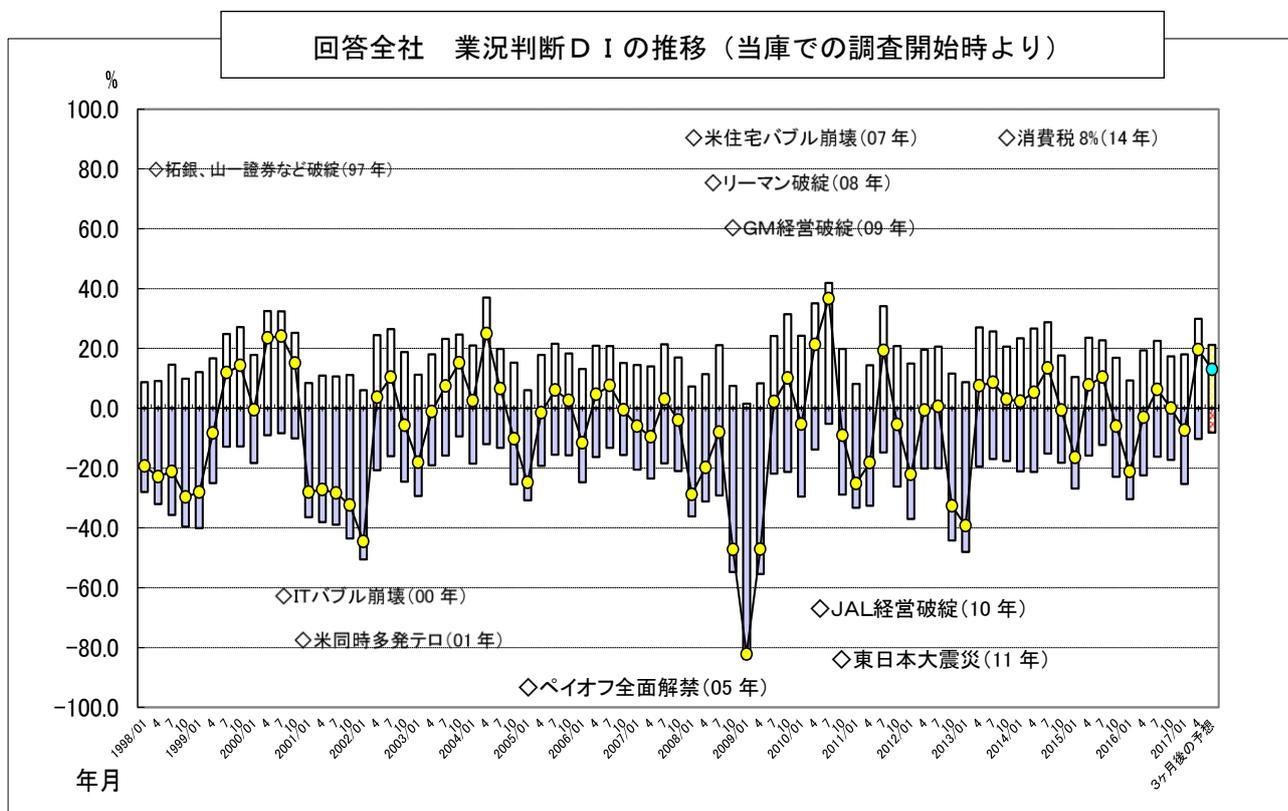
商業は、「前年同期比」で来客数DIは $\Delta 15.7$ と前回($\Delta 21.5$)に続きマイナス水準だが、業況判断DIは6.3で前回の $\Delta 17.8$ から改善した。前年の御柱祭は業種や地域によって好影響と悪影響の両面があり、今回の業況を左右している。御柱祭要因で低調だった店舗は回復し、特需だった店舗は売上は落ちたものの、減少幅は小さいと見られる。「3ヶ月前」との比較で業況判断DIは、31.2(前回 $\Delta 14.3$)と改善している。「3ヶ月後」の予想は業況判断DIが15.6(前回14.3)とほぼ同様だが、売上DIは15.6(前回17.9)、来客数DIは6.3(前回10.7)で悪化した。飲食店などでは仕入れ価格の上昇に加え、法人の利用が増加せず「景気が良くなった感触はない」という声もあり、地域の店舗では低調な消費マインドに苦慮するケースも多い。

観光・サービス業は、「前年同期」と比べた業況判断DIは $\Delta 41.7$ (前回 $\Delta 18.7$)、売上DIは $\Delta 50.0$ (前回 $\Delta 25.0$)で、宿泊客数DIは $\Delta 50.0$ (前回 $\Delta 31.3$)と、いずれも大幅なマイナスで御柱祭の反動が顕著に出た。ただ、「3ヶ月前」と比べた業況判断DIはシーズン狭間のため25.0(前回31.3)とやや悪化し、トップシーズンを迎える「3ヶ月後」は66,7(前回18.8)の大幅改善予想となり、例年同様に推移している。4月は前年より残雪が多く、春スキ

一の来場者が増加した半面、時期はずれの降雪で入場者が減少した施設があった。諏訪地方からの旅行は、昨年は御柱祭で控える傾向だったが、今年は動き出している。ただ、北朝鮮のミサイル発射問題で韓国旅行が激減し、旅行代理店には現地情勢に対する問い合わせが多い。

建設業は、「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは△6.3で、前回調査時(0.0)からやや悪化した。受注状況DIも前回の△5.9から△12.5と悪化幅が広がった。「3ヶ月後」の業況予想DIも6.2(前回11.7)で悪化している。受注予想DIは前回同様の0.0と横這い状態だが、原材料や燃料等のコスト予想DIは18.8(前回0.0)と上昇予想の企業が多い。諏訪地方の平成29年3月の新設住宅着工戸数は92戸で、前年同月比33戸増加(55.9%)した。平成28年4月～平成29年3月の累計着工戸数は1,113戸で、前年同期比128戸増加(13.0%)した。平成29年4月に地元業者が受注した国県関係の公共工事はなく、市町村からの受注工事は、合計38件、425百万円で、前年同月比件数は6件減少し、契約金額は155百万円増加した。

雇用状況は、平成29年3月の諏訪地方の有効求人倍率が、前年同月を0.34ポイント上回り、前月を0.02ポイント下回る1.60倍となった。1倍台は36ヶ月連続。長野県は1.48倍で、全国は1.45倍だった。諏訪地方は、新規求人数(全数)が1,948人で前年同月比369人増加(23.4%)した。新規求職者数は878人で前年同月比18人減少(△2.0%)している。産業別の前年同月比の新規求人数は、建設業で72.7%、製造業で58.6%増加し、運輸業で46.1%減少した。求人 の 要 因 別 で は 「 業 務 量 増 大 」 「 創 業 ・ 新 分 野 展 開 」 「 欠 員 補 充 」 が 増 加 し 、 「 継 続 す る 人 員 不 足 」 が 減 少 し た 。 1 件 10 人 以 上 の 人 員 整 理 は 1 件 で 、 事 業 主 都 合 に よ る 雇 用 保 険 資 格 喪 失 者 は 95 人 で 、 前 年 同 月 よ り 59 人 増 加 、 前 月 よ り 66 人 増 加 し た 。



業況判断DIの推移 「3ヶ月前と比較して」

回答全社(184社)の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは、「好転」企業が29.9%、「横這」企業が59.8%、「悪化」企業が10.3%で19.6となった。前回調査時点で3ヶ月後の予想DIは6.2だったが、予想より「好転」企業が多く、「悪化」企業が少なかった。

製造業は、「好転」企業が前回の18.8%から28.2%へ9.4ポイント増加し、「悪化」企業は22.6%から8.9%へ13.7ポイント減少した。非製造業は、「好転」企業が前回の16.4%から33.3%へ増加し、「悪化」企業は31.1%から13.3%へ減少した。観光・サービスの業況判断DIが25.0で56.3ポイント改善し、例年同様季節要因が全体を押し上げている。商業も前回の△14.3から31.2へ改善したが、建設業は△6.3(前回0.0)とやや悪化した。

産業別業況表

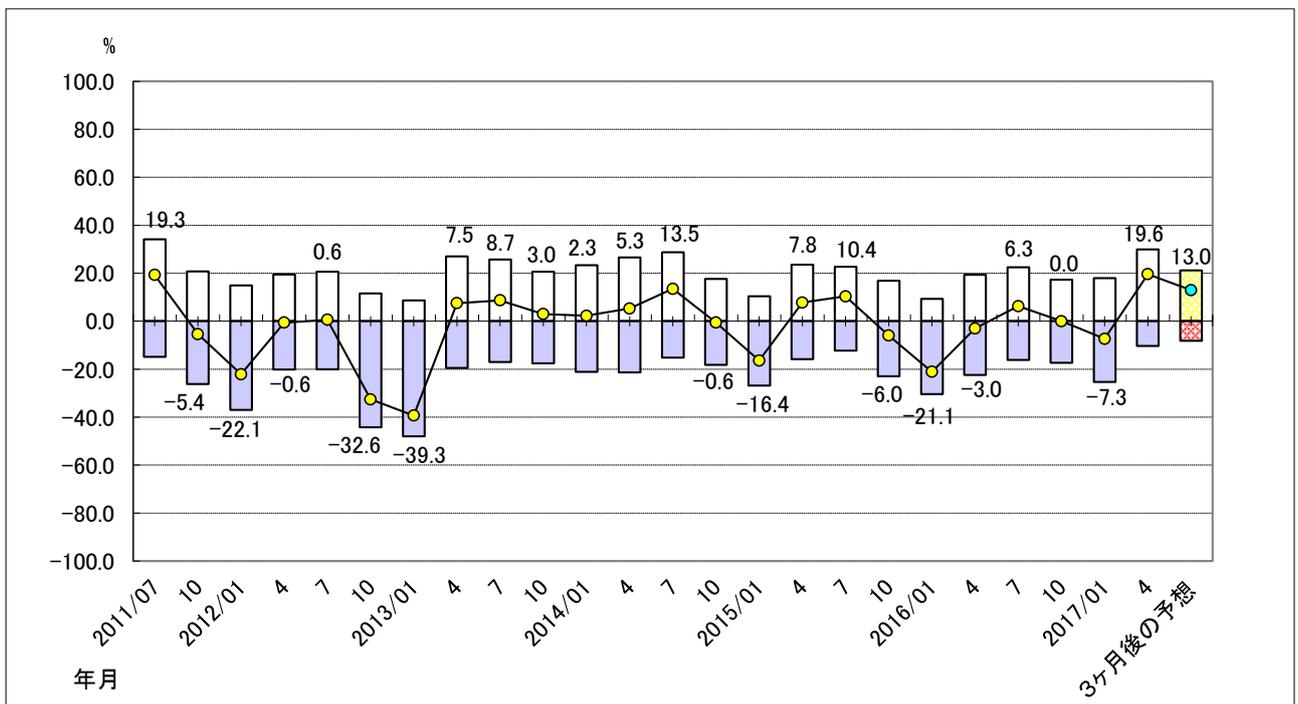
(企業数・%) 表-1

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
全体	184	29.9	59.8	10.3	19.6	184	33.7	41.3	25.0	8.7	184	21.2	70.7	8.2	13.0
製造業	124	28.2	62.9	8.9	19.3	124	38.7	38.7	22.6	16.1	124	17.7	72.6	9.7	8.0
非製造業	60	33.3	53.3	13.3	20.0	60	23.3	46.7	30.0	-6.7	60	28.3	66.7	5.0	23.3
商業	32	40.6	50.0	9.4	31.2	32	34.4	37.5	28.1	6.3	32	21.9	71.9	6.3	15.6
建設業	16	12.5	68.8	18.8	-6.3	16	12.5	68.8	18.8	-6.3	16	12.5	81.3	6.3	6.2
観光・サービス	12	41.7	41.7	16.7	25.0	12	8.3	41.7	50.0	-41.7	12	66.7	33.3	0.0	66.7

自社業況判断DIの推移

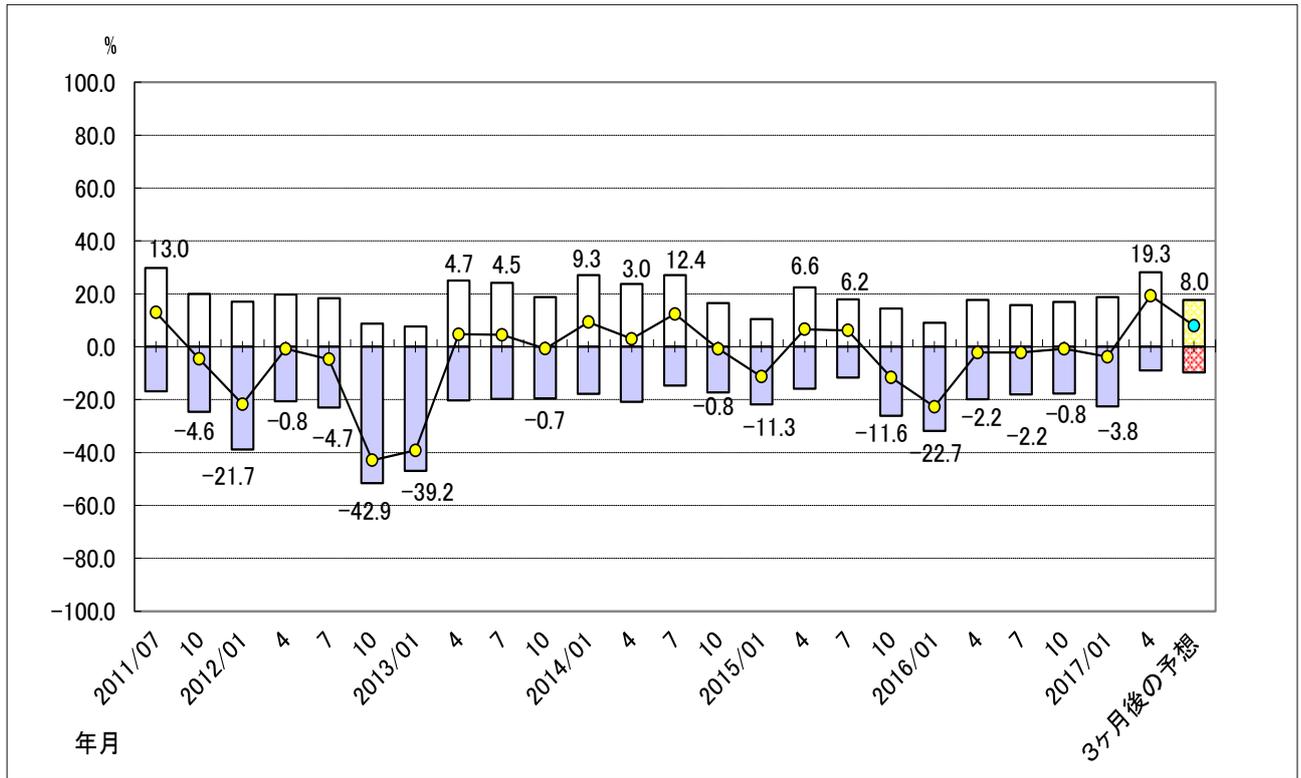
● 回答全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-1



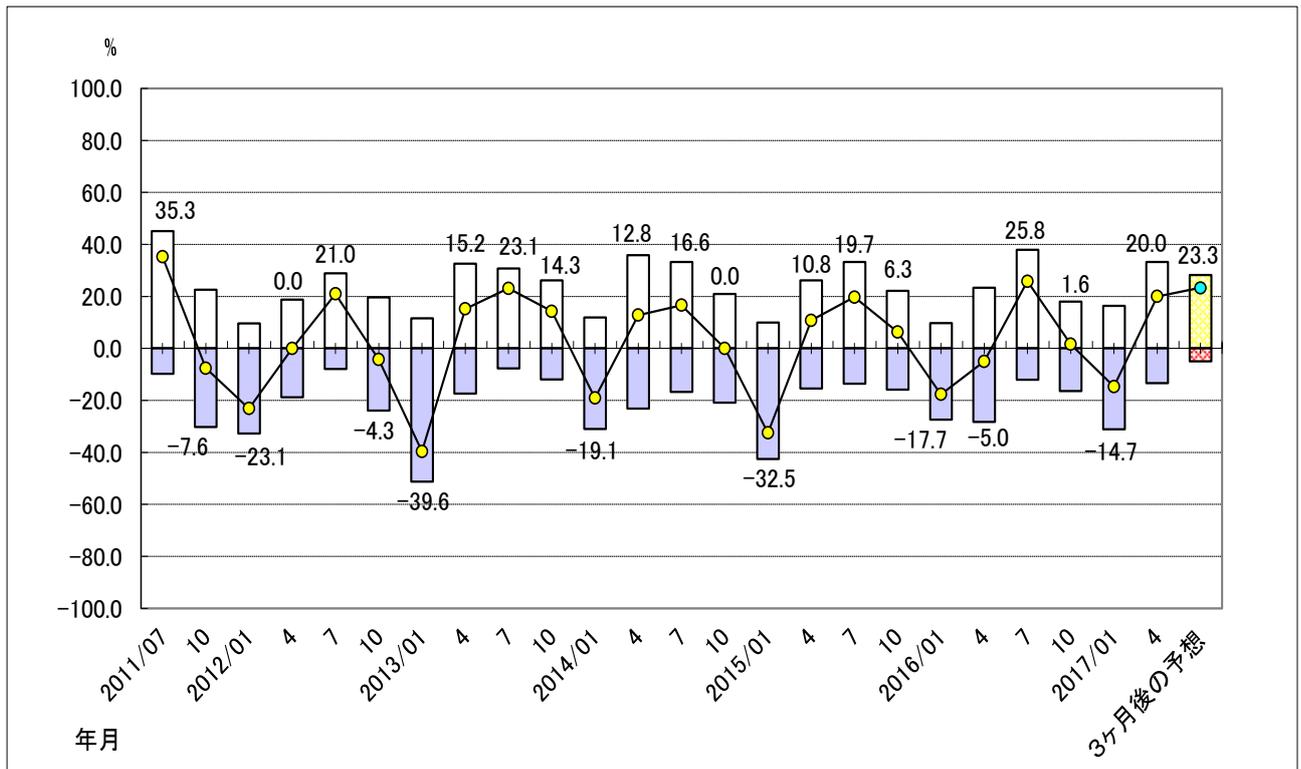
●製造業：「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフー2



●非製造業：「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフー3



産業別景気動向

1. 製造業

業況判断DIは、「3ヶ月前比」で 19.3 と、前回調査時の△3.8 から改善した。「前年同期比」では 16.1 と前回の 5.2 から 10.9 ポイント改善した。「3ヶ月後」の予想は 8.0 で好転予想の企業が増え、前回の 2.2 から 5.8 ポイント改善した。

受注状況DIは、「3ヶ月前」と比べて 20.2 で、前回の△5.3 から改善した。「前年同期比」は前回の 9.0 から 19.3 へ改善し、「3ヶ月後」の予想DIも 4.8 で前回の 3.7 から改善している。受注量増加に伴い、労働力確保や設備投資が課題となっている。

収益性DIは、「3ヶ月前比」で 8.1 と前回の△6.8 から 14.9 ポイント改善し、「前年同期比」は前回の 4.5 から 8.8 へ 4.3 ポイント改善した。ただ、「3ヶ月後」の予想は△2.4 で、前回の 0.0 より悪化している。

電力や燃料などのエネルギーコストは「3ヶ月前」に比べて 30.6% (前回 25.6%)、「前年同期比」では 36.3% (前回 20.3%) の企業が上昇している。「3ヶ月後」は 80.6% (前回 75.2%) が横這で推移するとみている。

業種別(主要 5 業種)の業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて「金属製品」が 46.7(同 20.0)、「輸送用機械」は 38.5(同 7.2)、「電気機械」が 24.0(同 6.6)、「一般機械」は 21.9(同△8.6)と改善し、「精密機械」は△3.4(前回 0.0)とやや悪化した。

「前年同期比」では、「金属製品」が 80.0(前回 46.7)、「輸送用機械」が 46.1(同 21.4)、「一般機械」は 12.5(同△20.0)と改善したが、「電気機械」が 4.0(同 13.4)、「精密機械」は 0.0(同 25.0)と悪化した。

「3ヶ月後」の予想DIは、「精密機械」が 33.3(同△8.4)と大幅改善が見込まれ、「一般機械」が 9.4(前回△2.9)、「輸送用機械」が 7.7(同 7.1)、「電気機械」は 4.0(同 0.0)と好転予想が多いが、「金属製品」は△6.7(同 0.0)と悪化予想が多くなっている。

米国トランプ大統領の就任直後に行った前回調査に比べ、3ヶ月を経過して同大統領の影響を懸念する声は少なくなった。

製造業 業種別・規模別の自社業況表

表-2

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想					
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	
製造業	124	28.2	62.9	8.9	19.3	124	38.7	38.7	22.6	16.1	124	17.7	72.6	9.7	8.0	
規模	1~29人	68	23.5	66.2	10.3	13.2	68	32.4	45.6	22.1	10.3	68	13.2	75.0	11.8	1.4
	30~99人	39	38.5	53.8	7.7	30.8	39	46.2	25.6	28.2	18.0	39	23.1	66.7	10.3	12.8
	100人~	17	23.5	70.6	5.9	17.6	17	47.1	41.2	11.8	35.3	17	23.5	76.5	0.0	23.5
分類	金属製品製造業	15	46.7	53.3	0.0	46.7	15	80.0	20.0	0.0	80.0	15	13.3	66.7	20.0	-6.7
	一般機械器具製造業	32	34.4	53.1	12.5	21.9	32	34.4	43.8	21.9	12.5	32	18.8	71.9	9.4	9.4
	電気機械器具製造業	25	28.0	68.0	4.0	24.0	25	28.0	48.0	24.0	4.0	25	16.0	72.0	12.0	4.0
	輸送用機械器具製造業	13	38.5	61.5	0.0	38.5	13	53.8	38.5	7.7	46.1	13	7.7	92.3	0.0	7.7
	精密機械器具製造業	12	8.3	75.0	16.7	-8.4	12	33.3	33.3	33.3	0.0	12	33.3	66.7	0.0	33.3

①諏訪地方製造品出荷額の70%を占める中分類5業種の業況

●金属製品(プレス、メッキ、熱処理など)

業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて46.7で、前回調査時の20.0から大幅改善した。「前年同期比」も80.0(前回46.7)と改善しているが、「3ヶ月後」の予想は△6.7(前回0.0)と悪化予想の企業が増えている。好調な半導体関連製品をはじめ、国内メーカーに動きが出ている自動車関連も活発化しているほか、首都圏のマンション建設需要などを取り込んだ企業もある。

●一般機械(工作機械、専用機械、省力機械、検査機械など)

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べて21.9で、前回の△8.6より改善した。「前年同期比」では12.5で、前回の△20.0から改善している。「3ヶ月後」の予想も9.4で前回の△2.9より改善した。IOTに向けた機器の省力化、人手不足によるロボット化、自動車の安全対策などへの動きが活発で、特に省力化機械は多くの業界で需要があり、受注残高がバブル期並みの企業がある。中国の鉄道向けとみられる発券機関連の受注が増加した企業もある。例年だと4月は落ち込む傾向の企業が、受注を選別する状態にもなっている。

●電気機械(家電、パソコン、情報機器、電子デバイス、デジタルカメラなど)

業況判断DIは、「3ヶ月前比」で24.0と前回の6.6から改善したが、「前年同期比」では4.0で前回の13.4から悪化した。「3ヶ月後」の予想は4.0で前回の0.0から改善した。中国のスマートフォン向け半導体関連装置やプリンター部品、建設関連用リレーなどの受注が増加している。北朝鮮問題でJアラート部品の大量発注もあった。

●輸送用機械(自動車関連、ピストンリング、船外機、航空機部品など)

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べて38.5で、前回の7.2から改善した。「前年同期比」も46.1で、前回の21.4から改善している。「3ヶ月後」の予想は7.7で、前回の7.1とほぼ同様に推移した。自動車関連は国内各メーカーに動きが出て増加傾向となっている。特にトラック等運送関連の受注が目立つ。ただ、好調を維持していた北米向けには一部減速感が出て、トランプ大統領の動向もあり慎重姿勢の企業がある。船外機は世界的な需要があり、高水準で推移している。

●精密機械(時計、カメラ、光学機器、計量器、医療機器など)

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べて△8.4で、前回の0.0より悪化した。「前年同期比」も0.0(前回25.0)で悪化した。が、「3ヶ月後」の予想は33.3(前回△8.4)で、好転予想の企業が増加している。高級デジタルカメラ関連や自動車関連機器への搭載が進む光ファイバー通信ケーブル部品、車載カメラ関連が堅調に推移している。

②規模別業況

業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて「1~29人」規模は前回の△9.7から13.2へ改善し、「30~99人」規模は前回の6.9から30.8へ改善、「100人以上」規模は前回の△5.6から17.6へ改善した。「前年同期比」

は「1～29人」規模が10.3で前回の0.0から改善し、「30～99人」規模が18.0で前回の13.9から改善し、「100人以上」規模も35.3で、前回の5.6から改善した。「3ヶ月後」の予想は、「1～29人」規模が1.4で前回の△12.5より改善し、「30～99人」規模は12.8で前回の14.3からやや悪化し、「100人以上」規模は23.5で前回の33.3よりやや悪化している。

③受注状況DI(規模別、業種別)

製造業全社の「3ヶ月前」と比べて受注状況DIは、「増加」企業33.9%、「減少」企業13.7%で20.2と、前回調査時の△5.3から改善している。「前年同期比」は19.3で前回の9.0から改善した。一方、「3ヶ月後」の予想は「増加」が「減少」を上回る4.8で、前回の3.7から改善している。

規模別の受注状況DIは、「3ヶ月前」と比べて「1～29人企業」は11.8で、前回の△4.2から改善した。「30～99人企業」は35.9で、前回の△4.7から改善し、「100人以上企業」は17.6で前回の△11.1から改善している。「前年同期比」では「1～29人企業」が11.7で前回の△1.4から改善した。「30～99人企業」は25.7で前回の20.9から改善し、「100人以上企業」は35.3で前回の22.2から改善した。「3ヶ月後」の予想は「1～29人企業」が△7.3で前回の△9.7から改善し、「30～99人企業」は前回の9.3から20.5へ改善した。「100人以上企業」は17.6で前回の44.4から悪化予想が多くなっている。

業種別(主要5業種)の「3ヶ月前比」は、「金属製品」が前回の0.0から40.0、「一般機械」は△11.4から18.7、「精密機械」は△8.3から8.3、「輸送用機械」は14.3から38.5、「電気機械」は13.4から20.0とそれぞれ改善した。「前年同期比」は、「金属製品」が53.4から86.7、「輸送用機械」は35.7から38.4、「一般機械」は△14.2から15.6と改善し、「精密機械」は8.3で同率、「電気機械」は16.6から8.0へ悪化した。「3ヶ月後」の予想は、「精密機械」が前回の△16.7から33.3、「輸送用機械」は7.2から15.4、「電気機械」は3.3から8.0へ改善したが、「金属製品」は20.0から0.0、「一般機械」は△5.7から△12.5へ悪化した。

業種別・規模別受注状況表

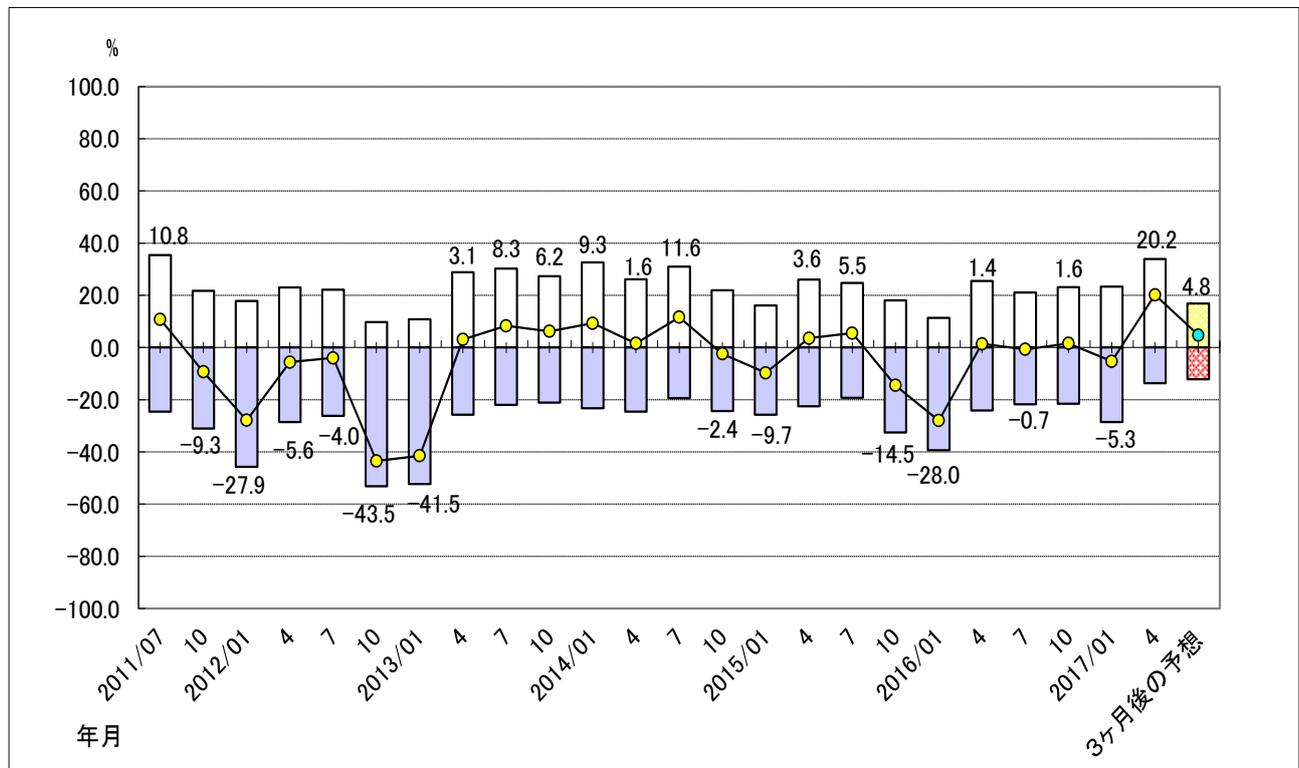
表-3

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想					
	回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI	
製造業	124	33.9	52.4	13.7	20.2	124	41.1	37.1	21.8	19.3	124	16.9	71.0	12.1	4.8	
規模	1～29人	68	26.5	58.8	14.7	11.8	68	33.8	44.1	22.1	11.7	68	10.3	72.1	17.6	-7.3
	30～99人	39	48.7	38.5	12.8	35.9	39	51.3	23.1	25.6	25.7	39	28.2	64.1	7.7	20.5
	100人～	17	29.4	58.8	11.8	17.6	17	47.1	41.2	11.8	35.3	17	17.6	82.4	0.0	17.6
中分類	金属製品製造業	15	53.3	33.3	13.3	40.0	15	86.7	13.3	0.0	86.7	15	20.0	60.0	20.0	0.0
	一般機械器具製造業	32	37.5	43.8	18.8	18.7	32	40.6	34.4	25.0	15.6	32	9.4	68.8	21.9	-12.5
	電気機械器具製造業	25	32.0	56.0	12.0	20.0	25	32.0	44.0	24.0	8.0	25	16.0	76.0	8.0	8.0
	輸送用機械器具製造業	13	38.5	61.5	0.0	38.5	13	53.8	30.8	15.4	38.4	13	15.4	84.6	0.0	15.4
	精密機械器具製造業	12	25.0	58.3	16.7	8.3	12	33.3	41.7	25.0	8.3	12	33.3	66.7	0.0	33.3

製造業の受注状況DIの推移

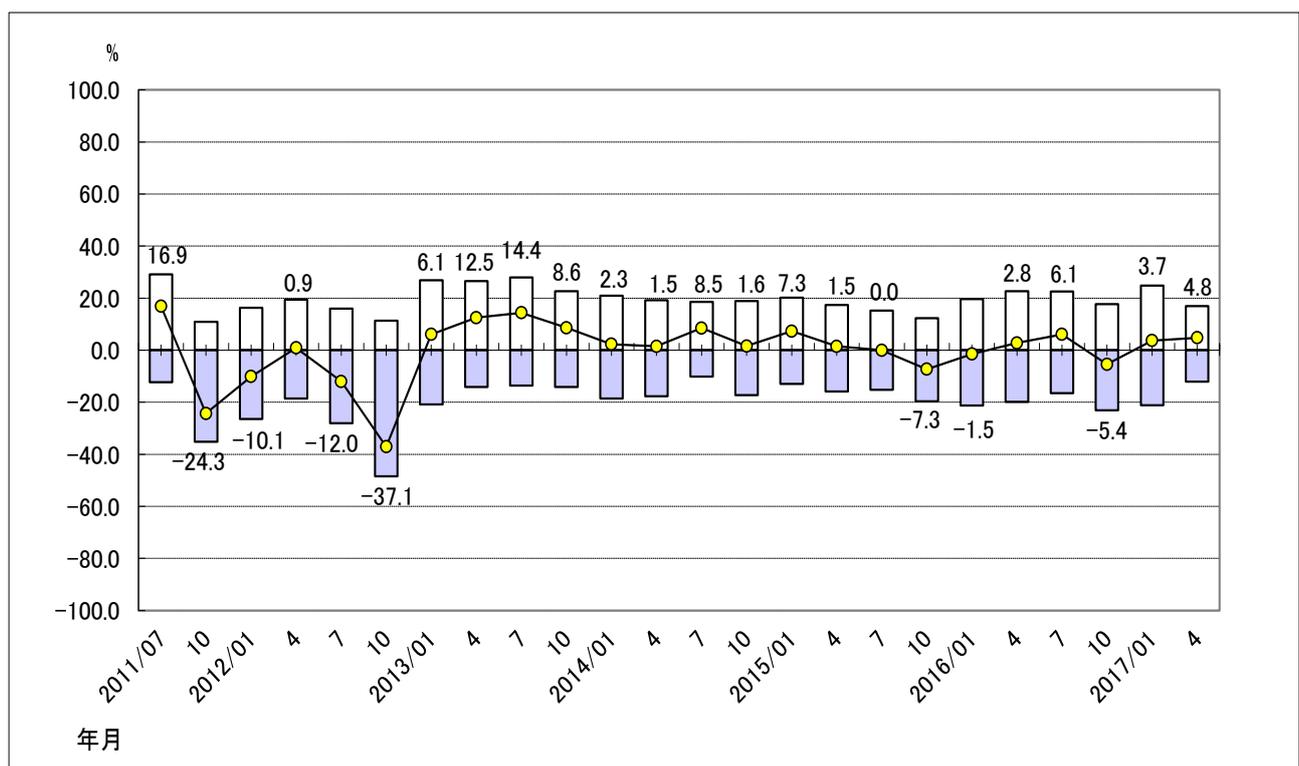
●製造業全社:「3ヶ月前」と比べた受注状況DIの推移

グラフー4



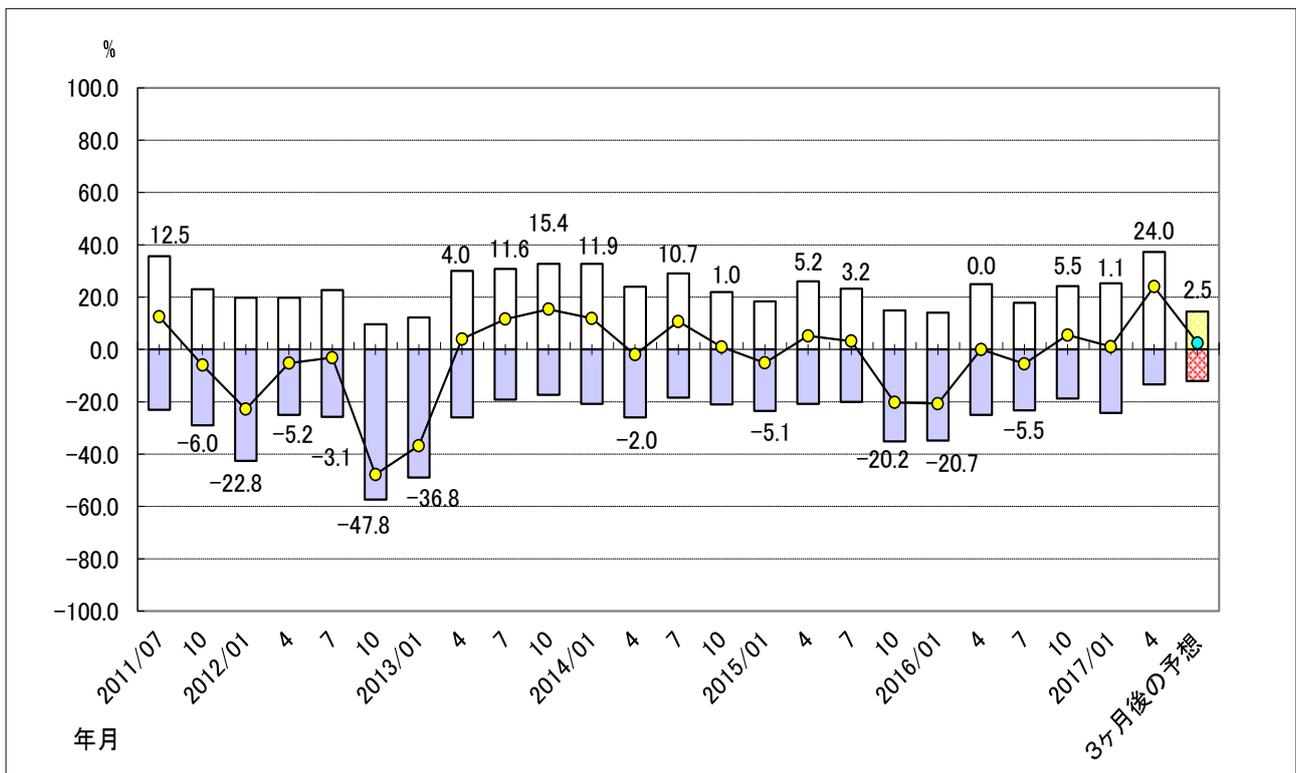
●製造業全社:「3ヶ月後」の受注予想DIの推移

グラフー5



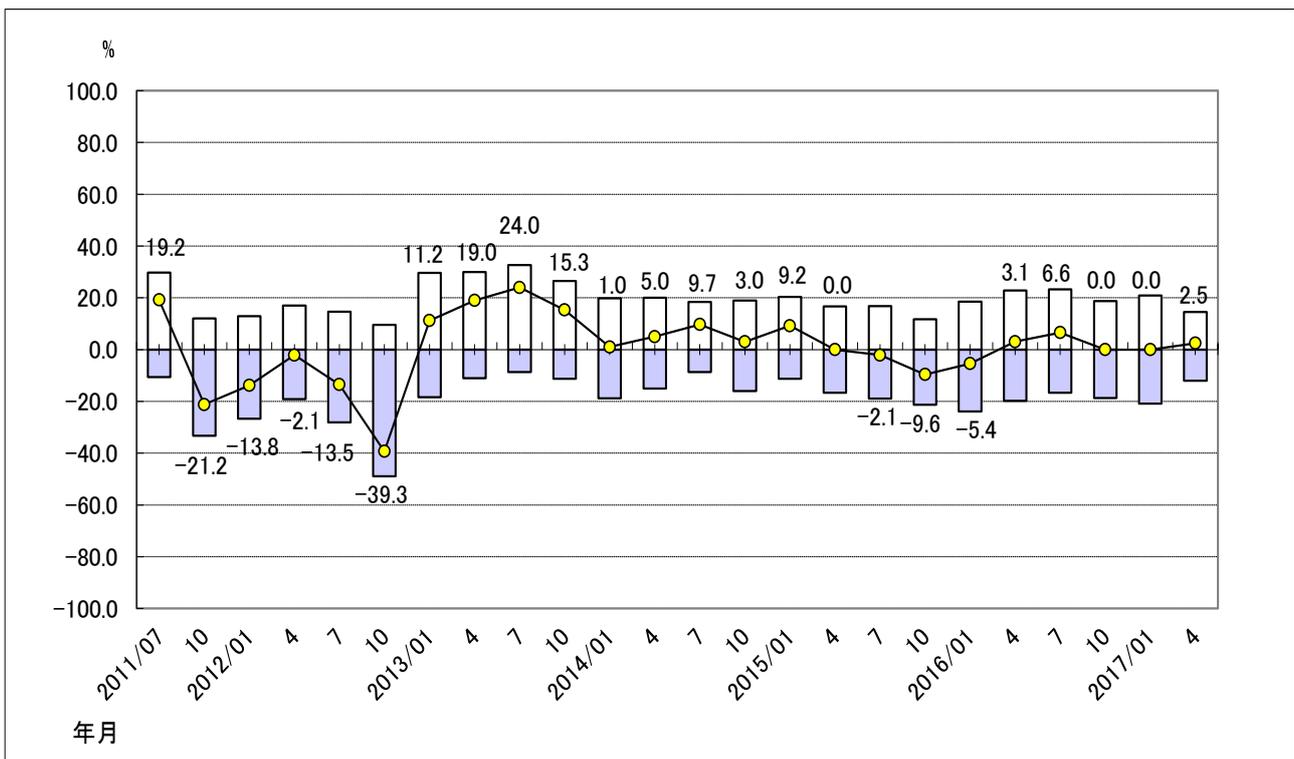
●製造業 主要5業種:「3ヶ月前」と比べた受注状況DIの推移

グラフー6



●製造業 主要5業種:「3ヶ月後」の受注予想DIの推移

グラフー7



商業・観光サービス業

①商業

「3ヶ月前比」の売上、客単価、収益性の各DIは前回より改善したが、労働力の確保に苦慮する小売店が多く、現在の人員を確保するために賃金を引き上げた店舗もある。昨年の台風被害によるジャガイモの不足で、ポテトスナックの一部種類の入荷が止まったが、大きな混乱はなかった。

- 食料品 野菜の価格は安定したが、近海物の魚介類、肉類、砂糖など高値水準の品目も多い。
- 衣料品 総的に低調だが、小野御柱祭向けの法被やグッズ販売が好調だった店舗がある。
- 自動車 諏訪地方の4月の車庫証明件数(軽自動車除く)が879件で、前年同月比では61件増加(7.5%)した。
- 家電店 全国的に白物家電の出荷量は増加しているが、地域個店にはまだ浸透していない。
- ホームセンター 園芸準備用品や通学用の自転車に動きがあった。
- 生花店 地元からの発注は減少傾向だが、ネット販売は好調。
- 飲食店 上旬は歓迎会などで動きがあったが、中旬から落ち着いた。

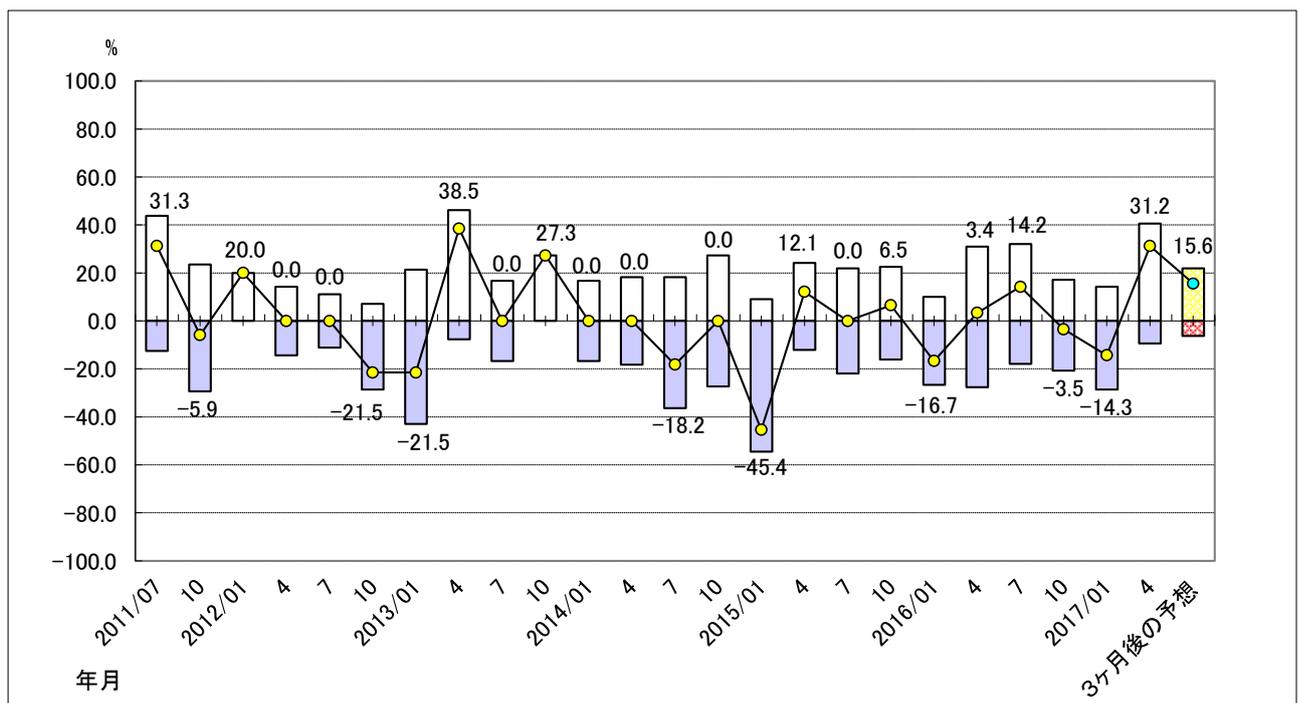
業況、客単価、来店客数

表-4

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	32	40.6	50.0	9.4	31.2	32	34.4	37.5	28.1	6.3	32	21.9	71.9	6.3	15.6
客単価	32	9.4	81.3	9.4	0.0	32	12.5	75.0	12.5	0.0	32	15.6	78.1	6.3	9.3
来店客数	32	15.6	62.5	21.9	-6.3	32	15.6	53.1	31.3	-15.7	32	18.8	68.8	12.5	6.3

●商業全社:「3ヶ月前」と比べて業況判断DIの推移

グラフ-8



②観光・サービス業

「3ヶ月前比」で、宿泊客数DIは8.4で前回の△31.3から改善し、客単価DIも8.3(前回△43.7)で改善した。「3ヶ月後」は季節要因もあり、宿泊客数予想DIが33.3と前回の12.5から改善し、収益性DIは58.3と前回の△6.3から改善した。ただ、一人当たり労働時間DIは58.3(前回12.5)で大幅増加予想となっている。今年の4月は花の開花が遅れ、花見シーズンと合わなかったため、一部予約キャンセルが見られた。

- 上諏訪温泉 4月の宿泊客数は前年同月比で7%台の減少から11%台の増加まで施設によって格差があった。30人以上の団体客と東京方面からの宿泊客が前年を上回った。企業が研修で貸し切った施設もあった。インバウンドは依然、減少傾向が続いている。
- 下諏訪温泉 大型施設の閉館で団体客が減少傾向となっている。周辺施設の宴会需要は増加した。
- 蓼科・白樺湖・ 春スキーがにぎわう一方、4月の降雪でゴルフ場は伸び悩んだ。外国人はツアーより個人予約が増加している。山野草の最盛期の入り込みが期待されている。
- 諏訪大社 上社・下社合わせた4月の参拝者数は約4万6千人で、前年同月比約2万4千人の減少(△34.4%)となった。

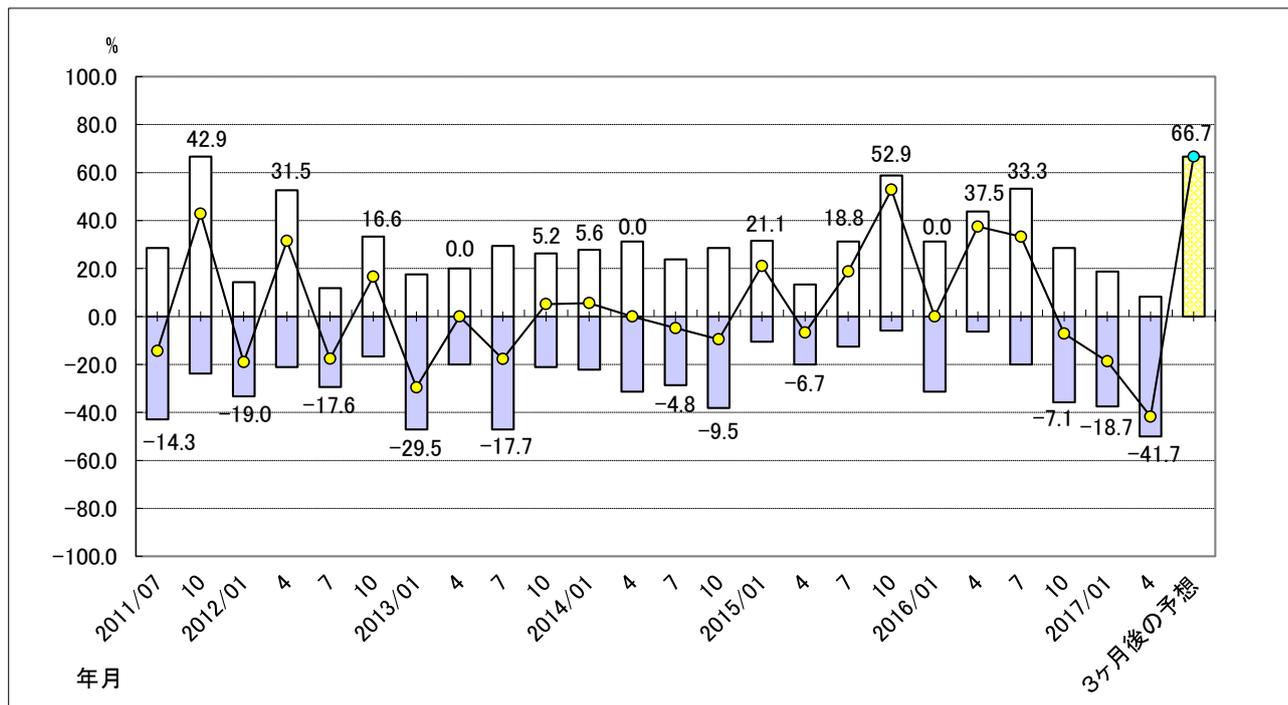
業況、売上、宿泊客

表-5

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	12	41.7	41.7	16.7	25.0	12	8.3	41.7	50.0	-41.7	12	66.7	33.3	0.0	66.7
客単価	12	25.0	58.3	16.7	8.3	12	8.3	33.3	58.3	-50.0	12	50.0	41.7	8.3	41.7
宿泊客数	12	41.7	25.0	33.3	8.4	12	8.3	33.3	58.3	-50.0	12	58.3	16.7	25.0	33.3

●観光・サービス業全社:「前年同期」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-9



3.建設業

「3ヶ月前」と比べて外注発注量DIは△6.3で、前回の△17.6から改善した。また、資金繰りDIも前回の△11.7から0.0へ改善している。収益性DIは△6.3(前回△5.9)でやや悪化傾向が続いている。「前年同期比」では、業況判断DIが△6.3で前回の△5.9からやや悪化し、売上DIは△11.8から△6.3へ改善したが、受注状況DIは△5.9から△12.5へ悪化した。「3ヶ月後」の予想DIは、受注状況が横這いで推移し、資金繰りが△6.3と前回の23.5から悪化している。例年同様、年度当初の公共工事発注は少なく、諏訪地域での新規工事に伴う調査案件も少なくなっている。

●建築工事

諏訪地方の平成29年3月の各市町村の新設住宅着工戸数は岡谷市15戸、諏訪市14戸、茅野市47戸、諏訪郡16戸の合計92戸だった。長野県全体の3月の新設住宅着工戸数は753戸で、前年同月比9.2%減少した。持家は5ヶ月ぶりの減少、貸家は2ヶ月連続の増加、分譲は2ヶ月連続減少した。

●公共工事

地元業者が受注した4月の国県関係の公共工事はなかった。市町村からの受注工事は、建築工事はなく、土木は24件196百万円、その他は14件229百万円だった。

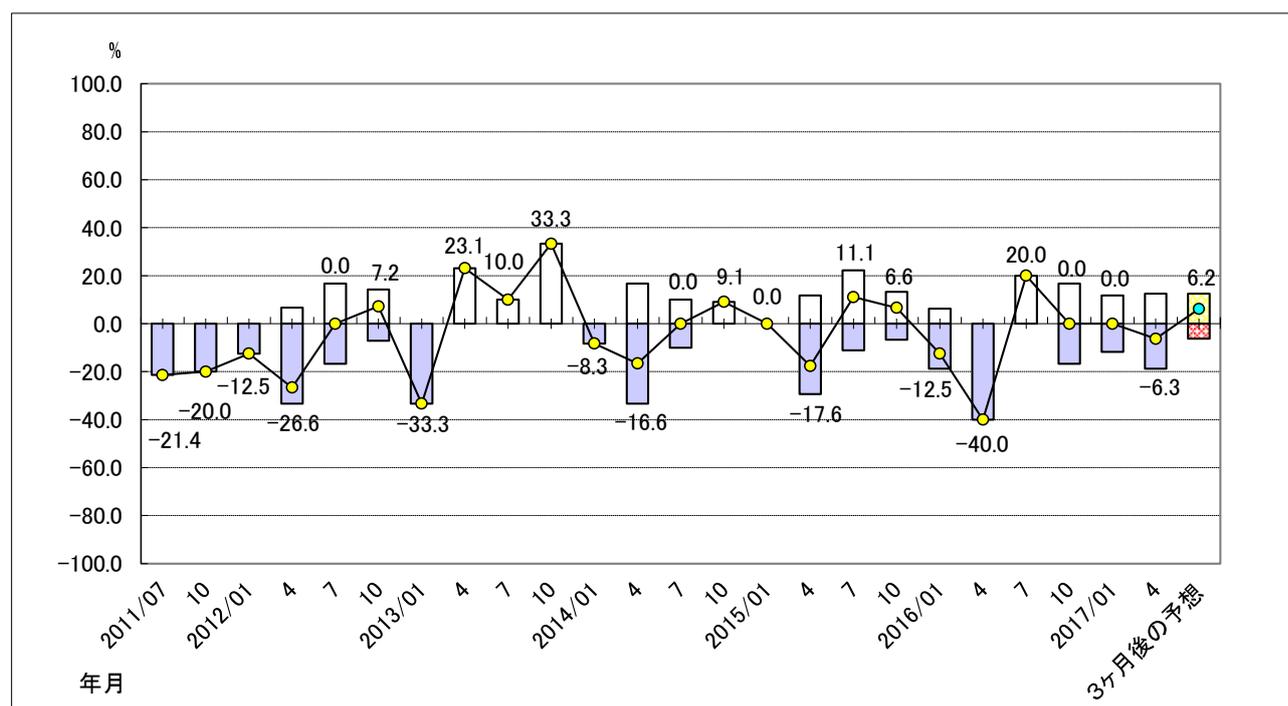
業況、受注状況、外注発注量

表-6

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	16	12.5	68.8	18.8	-6.3	16	12.5	68.8	18.8	-6.3	16	12.5	81.3	6.3	6.2
受注状況	16	18.8	50.0	31.3	-12.5	16	18.8	50.0	31.3	-12.5	16	18.8	62.5	18.8	0.0
外注発注量	16	25.0	43.8	31.3	-6.3	16	18.8	56.3	25.0	-6.2	16	31.3	62.5	6.3	25.0

●建設業全社:「3ヶ月前」と比べて業況判断DIの推移

グラフ-10



4.収益性状況

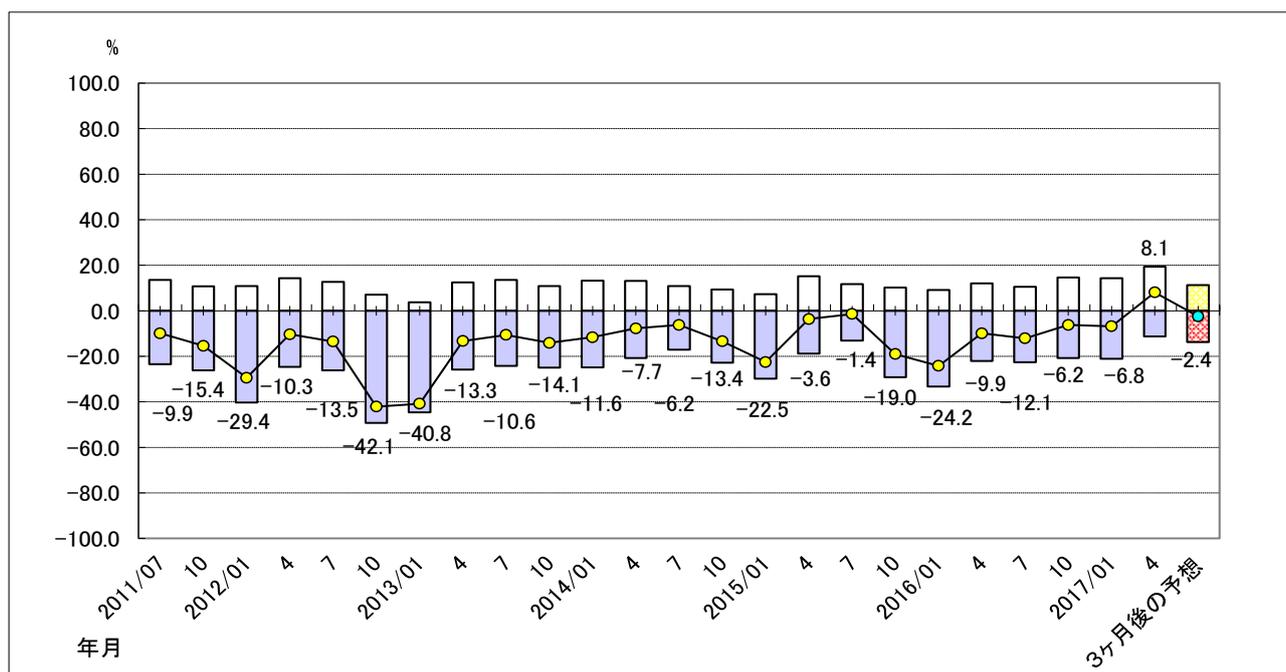
回答全社の「3ヶ月前」と比べた収益性は「好転」企業 20.1%、「悪化」企業 10.9%で、同DIは9.2と前回調査時の△9.3から改善した。「前年同期比」も 2.2 で、前回の△1.6より改善した。

「3ヶ月前」と比べて製造業は8.1で前回の△6.8より14.9ポイント改善し、非製造業は11.7で前回の△14.8より26.5ポイント改善している。

「3ヶ月後」の予想DIは、製造業が△2.4で前回の0.0より悪化し、非製造業は21.7で前回の3.3より改善している。回答全社では5.4で、前回の1.0より改善している。

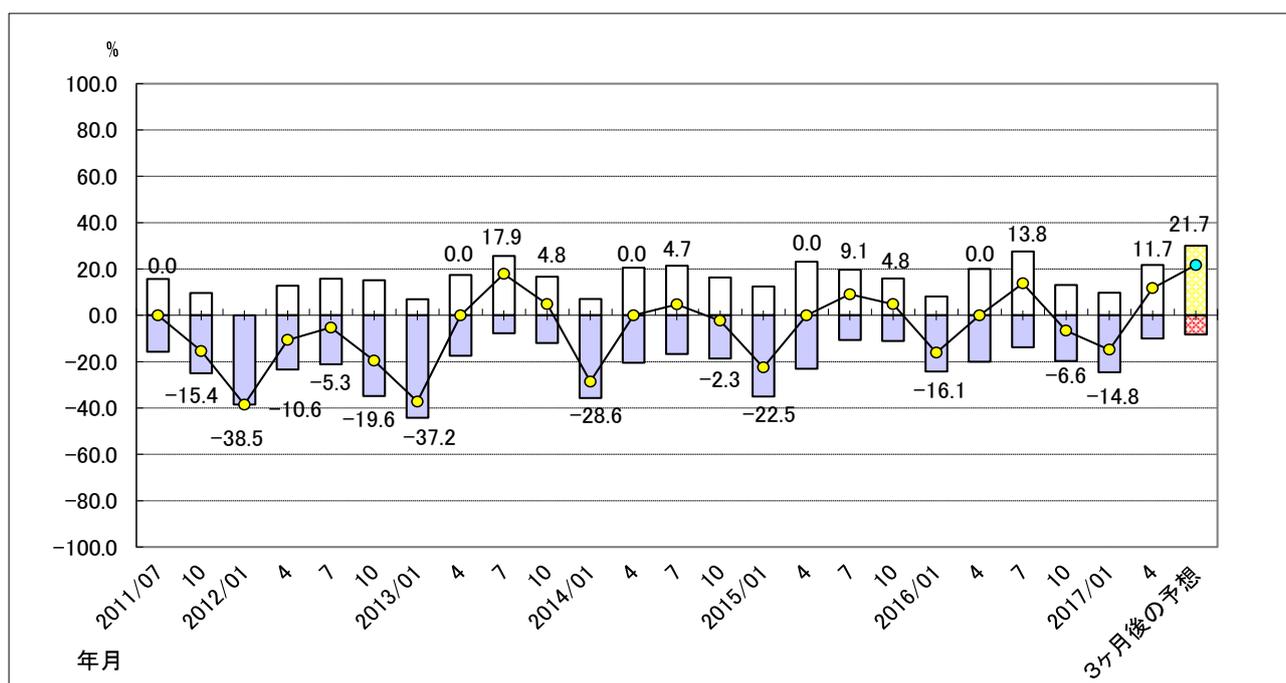
●製造業:3ヶ月前と比べた収益性DI

グラフー11



●非製造業:3ヶ月前と比べた収益性DI

グラフー12



5.経営上の課題

経営上の課題として①製造業は労働力確保と売上減少②商業は労働力確保と競争激化③建設業は、労働力確保と売上減少、競争激化④観光・サービス業は売上減少と資金繰り、人件費、労働力確保となっている。

経営上の課題	合計	製造業	商業	建設業	観光・サービス業
売上減少	52	32	11	5	4
単価引下げ	29	22	4	2	1
競争激化	42	24	12	5	1
資金繰り	36	26	3	4	3
人件費	32	20	5	4	3
労働力確保	97	71	15	8	3

6.諏訪地方主要経済指標

主要指標		実数	前年同期比	
有効求人倍率【3月】	ハローワーク諏訪	1.60倍	0.34ポイント	
手形交換高【4月】 (諏訪手形交換所扱)	枚数	3,855枚	△261枚	
	金額	5,310百万円	△1,292百万円	
	うち不渡り 発生状況	枚数	0枚	△2枚
	金額	0千円	△561千円	
車庫証明取扱件数【4月】(諏訪地方合計)		879件	7.5%	
新設住宅着工戸数【平成28年4月～平成29年3月】(諏訪管内)		1,113戸	13.0%	

7.調査概要

DI調査:業況が「好転」と答えた企業割合から「悪化」と答えた企業割合を引いた数値。

- ① 調査期間 平成29年4月末。
- ② 調査内容 「平成29年4月末」の実績と、「3ヶ月前」と「前年同期」の業績比較及び「3ヶ月後」の予想。
- ③ 調査方法 アンケート調査およびヒアリング調査(約130社)。
- ④ 対象地域 諏訪地域全域。
- ⑤ 業種 製造業、商業、建設業、観光・サービス業。
- ⑥ 回答企業数 184企業。
- ⑦ 回答率 73.6%

	製造業	商業	建設業	観光・サービス業	合計
依頼数	170	40	20	20	250
回答数	124	32	16	12	184